

新生戯曲展

SWEEET DREAMS ASPIRATION

(スウィート・ドリームス・アスピレーション)

作：宇里香菜

ロゴ

SWEEET

DREAMS

ASPIRATION

しんせいぎきょくてん スウィート ドリームス アスピレーション
新生戯曲展SWEET DREAMS ASPIRATION

(スウィート・ドリームス・アスピレーション)

さく う り か な
作：宇里香菜

だいめい い み
題名の意味について

スウィート (Sweet) とは

おも たべもの ひと おんがく もつ かわいらしさ みりょく ひょうげん
主に食べ物や人、音楽などが持つ可愛らしさや魅力表現するのに
つ か
使われます。

あまい い み たんご ひと もの かわい すてき
「甘い」という意味の単語ですが、人や物が「可愛い」ことや「素敵」だとい
うこと、また しんせつ ひと おも ひと たい やさ ひょうげん
親切な人や思いやりのある人に対して、「優しい」と表現する
ばあい
場合もあります。

ドリームス (Dreams) とは

おも ゆめ きぼう やぼう い み ふくすうけい ひとつ ゆめ ふくすう
主に夢や希望、野望などを意味し、複数形であるため、一つの夢ではなく複数
の夢を指すことが多く、また きぼう やぼう い み ぐたいてき もくひょう やぼう
希望や野望の意味では、具体的な目標や願望を
さ
指すこともあります。

スウィート ドリームス (Sweet Dreams) とは

よ ゆめ い み ね あいて おも かぞく ゆうじん
「良い夢を」という意味で、寝ようとしている相手（主に家族や友人など）に
こえ とき つか ひょうげん
声をかける時に使う表現です。

アスピレーション (Aspiration) とは

つよ がんぼう たいし あこが こうじょうしん い み あもち たんご
強い願望、大志、憧れ、向上心の意味合いで用いられる単語です。

*** 情報伝達内容注意事項 ***

非定型抗精神病薬（セロトニン・ドパミン拮抗薬：SDA）の解説

薬の効果と作用機序 脳内のドパミン D2 受容体やセロトニン 5-HT2 受容体などの拮抗作用により、幻覚、妄想、感情や意欲の障害などを改善する薬統合失調症は脳内のドパミンなどの働きに異常が生じ、幻覚、妄想などの陽性症状や感情の鈍麻、意欲の減退などの陰性症状などがあらわれる脳内のドパミン D2 受容体の拮抗作用により、陽性症状の改善が期待できる脳内のセロトニン 5-HT2 受容体の拮抗作用により、陰性症状の改善が期待できる 薬剤によっては認知症の周辺症状（BPSD）などへ使用する場合もある。

統合失調症は感情や思考をまとめることが上手くできなくなってしまう、幻覚症状、妄想、会話や行動の障害、感情の障害、意欲の障害などがあらわれる。統合失調症では脳内の神経伝達物質のドパミンなどの働きに異常が生じ、幻覚症状、妄想、思考の混乱などの陽性症状では脳内のドパミンの働きが過剰になっている。ドパミンが作用する受容体の中で特にドパミン D2 受容体は統合失調症に関わるとされる。また統合失調症には感情が乏しくなることや意欲の減退などの陰性症状もあらわれ、この症状は脳内神経伝達物質のセロトニンの 5-HT2A 受容体を阻害することなどで改善が期待できる。本剤はドパミンの D2 受容体への拮抗作用によるドパミンの過剰な働きによる陽性症状の改善作用と 5-HT2A 受容体への拮抗作用による陰性症状の改善作用をあらわす。本剤は同じく統合失調症に使用する抗精神病薬の定型抗精神病薬と比較した場合に一般的には、パーキンソン症候群や高プロラクチン血症などの副作用への懸念が少ないとされている（薬剤によってその度合いは異なる）。また、本剤の中には認知症の周辺症状（BPSD：幻覚、妄想、夜間せん妄などの症状）などに対しても使用する薬剤もある。

なお、本剤はセロトニンとドパミンの両方の受容体へ拮抗作用をあらわすことから、SDA（Serotonin-Dopamine Antagonist：セロトニン・ドパミン拮抗薬）と呼ばれることがある。

主な副作用や注意点として、精神神経系症状錐体外路症状、頭痛、めまい、眠気などがあらわれる場合がある。アカシジア体や足を動かしたくなる、足がむずむずする感じなどがあらわれる場合がある。内分泌症状高プロラクチン血症などがあらわれる場合がある。悪性症候群頻度は非常に稀である他の原因がなく高熱が出る、手足が震える、身体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、脈が速くなるなどの症状が同時に複数みられた場合は放置せず、医師や薬剤師に連絡する。

しんせいぎきょくてんスウィート ドリームス アスピレーション
新生戯曲展SWEET DREAMS ASPIRATION

(スウィート・ドリームス・アスピレーション)

さく う り か な
作：宇里香菜

とうじょうじんぶつ
登場人物

セティーナ ()

「

」

ディデュダ ()

「

」

アリスローズ ()

「

」

シヅア ()

「

」

お一蛸助伍世 ()

「

」

ばめん
場面

> 役者板付き／^{やくしゃいたつ} 緞帳^{どんちょう}上がり切り^{あき} 演目^{えんもく}開始^{かいし}

シヅア：^{かみておく} 上手奥

セティーナ：^{ちゅうおうしもて} 中央下手

ディデュダ：^{ちゅうおうかみて} 中央上手

アリスローズ：^{しもてそでたいき} 下手袖待機

こどもたち^{へや}
子供達の部屋

シヅアは、^{いちばんおく} 一番奥^{ふとん}の布団^{ねむ}で眠っている。

シヅア「・・・・・・・・」

セティーナとディデュダは、^{ねむ} 眠る^{したく} 支度^おを終えて、タロットカードで^{うらな} 占い^{あそ}遊び
をしながら明日^{あす}の事^{こと}を^{うらな} 占^{あそ}って遊んでいる。

セティーナ「どの^{うんめい} 運命^うでも受け入れ^いなきゃいけないっていうのがね」

ディデュダ「当たり^あ前^{まえ}でしょ。タロット^{うらな} 占^{あそ}いてそういうもんなんだから」

セティーナ「ほらやっぱ^{まちが} 間違^{こと}える事もあるじゃない、誰^{だれ}しもさ」

ディデュダ「神様^{かみさま}は間違^{まちが}えません」

セティーナ「えーこの^{まえ} 前^{かみさま}、神様^いの言^いう通^{とお}りとか言^いいながら、延々^{えんえん}と引^ひき延^のばし
ていたのは誰^{だれ}」

ディデュダ「あーあれは、あーそうそう、神様^{かみさま}も気分屋^{きぶんや}さんなところもあるか
ら」

セティーナ「それ、ずるいでしょ」

ディデュダ「まあまあそれはそれ、これはこれ、さあさあどれを^{えら} 選^{えら}ぶの」

セティーナ「うーん、じゃあこれ」

ディデュダ「ほほう、そうですか、そうですか」

セティーナ「何^{なに}、なんなの。早^{はや}く教^{おし}えてよ」

そこに、アリスローズが^{こどもたち} 子供達の^{へや} 部屋^とに飛^とび込^こんで来る。

アリスローズ「ねえねえ、みんな聞いて、^き私^{わたし}、^{おもしろ}面白い^{おまじな}御呪い^てを手^いに入れました」

ディデュダ「えー^{なになに}何々^{おし}、教えて」

セティーナ「ちょ、ちょっと^{わたし}私^{うらな}の^{けっか}占いの結果は」

ディデュダ「まあまあそれより^{おもしろ}面白い^{おまじな}御呪い^{ほう}の方が、^{きょうみ}興味あるでしょ」

アリスローズ「ねえ」

セティーナ「それはディデュダが、^{きょうみ}興味あるんでしょ」

ディデュダ「はいはい」

シヅア「・・・・・・・・」

シヅアは^{ねむ}眠っている。

アリスローズ「じゃじゃーん」

手^てに^も持っていた^{かみ}紙^{おおげさ}を^{ひろ}大袈裟に^{ひろ}拡げる。

アリスローズの^{ほう}方^むを^{どうじ}向^{かんせい}いて^{はくしゅ}同時^{はくしゅ}に^{はくしゅ}歓声^{はくしゅ}と^{はくしゅ}拍手。

セティーナ「わー。ぱちぱち」

ディデュダ「おー。ぱちぱち」

アリスローズが^{じぎ}お辞儀^{じぎ}をする。

アリスローズ「それでは^よ読^いませて^い頂^いきます」

^{ぎょうぎょう}仰々^{ものごと}しく^{こちよう}（物事を^{おおげさ}誇張^いまた^い大袈裟^いに^{ようす}言^{ようす}ったりする^{ようす}様子）

セティーナ「・・・・・・・・」

ディデュダ「・・・・・・・・」

アリスローズを^み見つめる。

シヅアは^{ねむ}眠っている。

シヅア「・・・・・・・・」

アリスローズ「^ま先^{ようい}ずね、用^{ようい}意^{ようい}するものがあ^かって『^か描^かくものと^か描^かかれるもの、も
う^{ひと}一つは、^か描^かくものと^か描^かかれるもので^{たいせつ}描^{たいせつ}いた^{だいじ}大切なものと^{やくそく}大^い事^いな約^い束^いを入れて

つく ろうそく
作った蠟燭』だって」

セティーナ「^か描くものと」

ディデュダ「^か描かれるもの」

セティーナ「もう一つは、^か描くものと^か描かれるもので^か描いた大切なものと」

ディデュダ「^{だいじ}大事な^{やくそく}約束を入れて^{つく}作った^{ろうそく}蠟燭」

セティーナとディデュダが、^{かんが}考^{ふくしょう}えながら復唱する。

アリスローズ「まだ、^{せつめい}説明には^{つづ}続きがあつて『^{たいてつ}星空の^{としびいろ}クレヨンと^{しおり}燈火色の^か葉
に、あなたの^{たいてつ}大切なものと^{だいじ}大事な^{やくそく}約束を^か描いて』って」

セティーナ「^{ほしぞら}星空の^{としびいろ}クレヨンなんて^も持っていたかな」

ディデュダ「^{としびいろ}燈火色の^{しおり}葉^かって^いどういうものなの」

セティーナ「^{つく}作った^{ろうそく}蠟燭^{なに}って、何、どうやって^{つく}作るの」

ディデュダ「^か描いたものを^い入れるんだよね」

アリスローズ「まあまあ^{まち}待ちなさいって、^{あせ}焦らない^{あせ}焦らない、この^{あと}後に^{ろうそく}ね蠟燭^い
の^{つく}作り^{かた}方が^か描いてあるの」

セティーナ「じゃあ^{はや}早く^{つづ}続き^よ読んで、^{もったい}勿体ぶらない」

ディデュダ「^{なに}何^き々あーもう^き気になる」

アリスローズ「はいはい、じゃあ^{つづ}続き^ね『^ずトケイソウ^{はち}好きな^{うち}蜂のお家^{カリッ}をカリッ
と^{はいしゃく}拝借、^{あまず}甘酸っぱい^{もも}桃の^{たね}種も^{くだ}ガリッと^{あま}砕いて、^{みつ}とろりと^{いっしょ}甘い蜜も^{忘れ}ず一緒
に、ぐるぐる^ま混ぜ^ま混ぜ、^{びっくり}吃驚させないように^{あたた}ゆったり温めて、くるくるとろ
とろ、まんまる^{こびん}小瓶に^つ詰めたら、^{としびいろ}燈火色の^{しおり}葉^ひポツチャン^ひヒンヤリ冷やして
出来上がり』だって」

セティーナ「だって」

ディデュダ「だって」

シヅア「・・・・・・・・」

シヅアは^{ねむ}眠っている。

アリスローズ「だって」

セティーナ「いやいや、これって、なぞなぞなの」

ディデュダ「全然、何を言っているのか分からなかった」

アリスローズ「謎が謎を呼んで謎が深まりますなあ」

セティーナ「ちょっとその紙読ませて」

ディデュダ「わーセティーナが、やる気になったみたいね」

セティーナ「やる気って、分からないのが気持ち悪いだけ」

アリスローズ「はい、どうぞ」

アリスローズがセティーナに「うやうや 恭 しく（相手を 敬 って礼儀正しく 振る舞う ことを意味）紙を渡す。」

セティーナ「どれどれ『トケイソウ好きな蜂のお家をカリッと 拝 借、甘酸っぱい桃の種もガリッと 砕 いて、とろりと甘い蜜も忘れず一緒に、ぐるぐる混ぜ混ぜ、吃驚させないように ゆったり 温 めて、くるくるとろとろ、まんまる小瓶に 詰めたら、燈火色の 葉 ポツチャンヒンヤリ 冷やして 出来上がり』かあ」
ディデュダ「わーもう分かったの」

アリスローズ「おーもう謎を解いたとは」

セティーナ「・・・・・・今、考 え 中」

ディデュダ「なーんだ」

アリスローズ「なーんだ」

シヅアは眠っている。

シヅア「・・・・・・」

セティーナ「なーんだ。って何、もうそんなに早く分かるはずないでしょ」

ディデュダ「それなら一つ一つ 考 え て み よ う」

アリスローズ「謎が解けないと御呪いも出来ないからね」

セティーナ「兎に角、先ずは、描くものと描かれるものを集めて来ましょう」

ディデュダ「はい。じゃあ 私 は描くもの担当」

アリスローズ「じゃあ描かれるもの担当。セティーナの担当は・・・・・・」

セティーナ「ちょ、ちょっと待^まってよ、ふたりとも。集^{あつ}めて来^くる前^{まえ}に覚^{おぼ}えているの」

ディデュダ「勿^{もちろん}論」

アリスローズ「勿^{もちろん}論」

セティーナ「本^{ほん}当^{とう}かなあ」

ディデュダ「じゃあ早^{さっ}速^{そく}」

アリスローズ「よーい、ドンッ」

シヅアは、寝^ね返^{がえ}りを打^うつ。

セティーナ、ディデュダ、アリスローズが、部^へ屋^やの中^{なか}を探^{さが}しに^い行く。

セティーナ「うーん、これかな。あとこれかな」

ディデュダ「きっとこれだよ。大きいし」

アリスローズ「多^た分^{ぶん}、この長^{なが}いのが、そうだよね」

セティーナ「はい、ふたりとも見^みつかった」

ディデュダ「これ」

アリスローズ「これ」

セティーナ「違^{ちが}います。ふたりとも、全^{ぜん}然^{ぜん}覚^{おぼ}えていないじゃない」

ディデュダ「あはは」

アリスローズ「あはは」

セティーナ「これとこれ・・・・・・だ^{おも}と思う。多^た分^{ぶん}。星^{ほし}空^{ぞら}のクレヨンと燈^{とも}火^{しび}
色^{いろ}の葉^{しおり}っぱいのは」

ディデュダ「そうそう多^た分^{ぶん}それ。星^{ほし}空^{ぞら}のクレヨン」

アリスローズ「うんうんき^{とも}つとそれ。燈^{とも}火^{しび}色^{いろ}の葉^{しおり}」

セティーナ「なん^こか心^{ころ}許^{もと}ないけれど・・・・・・大^{たい}切^{せつ}なもの^{だい}と大^{だい}事^じな約^{やく}束^{そく}を
描^かきましょう」

ディデュダ「はーい」

アリスローズ「御^{おま}呪^{じな}い楽^{たの}しみ」

シヅアは、眠^{ねむ}っている。

シヅア「・・・・・・・・」

じゅんばん たいせつ だいじ やくそく か お ひと うた だ
順 番 に大切なものと大事な約束を描き終えた人から歌い出す
か お じゅんばん
描き終える順 番 は、セティーナ、ディデュダ、アリスローズの順。

かしょう
歌唱

マイ フェイバリット シン グ ス
My Favorite Things

セティーナ、ディデュダ、アリスローズが順 番 に廻りながら歌う。

セティーナ「いちごあじ あめ
莓 味の飴とカリカリトースト、かた あ
肩が開いたワンピース、まほう
魔法の
はこ いろ ぼうし
匣、ミルクティー色の帽子とシマリスのサンダルにめがね ちい ころ おも だ
眼鏡、小さい頃の思い出」
ディデュダ「ごはん くろいろ
チョコレートとウィナー御飯、黒色のズボンに黒いトレーニン
ぐ しょう まほう はこ さいふ かばん き い
グシャツと魔法の匣にお財布と鞆、お気に入りのキャップと蛍光ピンクスニ
ーカーにめがね かそうげんじつ せかい おお くち かいぶつ ちい にんぎょ
眼鏡、仮想現実の世界に大きなお口の怪物と小さな人魚」
アリスローズ「すいか
西瓜ポンチにパンと 短い短パン、あめ
飴にチョコレートにグミに
かすてら しろ ぼうし
カステラ、白い帽子にサンダル、キラキラ指輪を嵌めて読むのは爬虫類の本」

セティーナ、ディデュダ、アリスローズが、くるくると廻り終えたら、きよく
曲 が
フェードアウト。

そのままそれぞれのねむ い ち い どう ねむ
眠る位置に移動し眠る。

セティーナ、ディデュダ、アリスローズがねむ
眠るとシヅアがゆっくりと起き出す。
シヅアがたどたどしくマイ フェイバリット シン グ ス はなうた うた だ
My Favorite Thingsを鼻歌で歌い出す。

かしょう
歌唱

マイ フェイバリット シン グ ス
My Favorite Things

シヅア「めだま や くろけい ふく
目玉焼き、黒系の服にジーンズ系のズボン、まほう はこ
魔法の匣、
さいふ か ものよう
お財布、お買い物用のバッグ、ウェットティッシュ、いろいろはい
色々な入っているポーチ、

お気に入りのキャップ、サンダル、スニーカー、ヒール、ピアス、ネイルチップ、眼鏡、^{めがね} 幸福な王子、^{こうふく} 夜更かし^{おうじ} の歌^{よふ} ・ ・ ・ ・ ・」

セティーナ、ディデュダ、アリスローズは眠^{ねむ}っている。

シヅアは部屋^{へや}を見廻^{みまわ}しながら^{つぶや} 呟^{つぶや}く

シヅア「・ ・ ・ ・ ・ 私^{わたし}のお気に入り^きのもの、好きなもの^す ・ ・ ・ ・ ・」

テーブルに置^おかれた一冊^{いっさつ}の絵本^{えほん}を手^てに取り^と開^{ひら}く。

シヅア「・ ・ ・ ・ ・ 『トケイソウ好きな蜂^ずのお家^{はち}をカリッと^{うち} 拝借^{はいしゃく}、甘酸^{あま}っぱい桃^{もも}の種^{たね}もガリッと^{くだ}砕いて、とろりと^{あま} 甘い蜜^{みつ}も忘れ^{いっしょ}ず一緒に、ぐるぐる^ま 混ぜ混ぜ、^{びっくり} 吃驚^{あたた}させないようにゆったり温^{あたた}めて、くるくるとろとろ、まんまる^{こびん} 小瓶^{こびん}に詰^つめたら、燈火^{とも}色の^{しほいろ} 葉^{しおり} ポッチャン^ひ ヒンヤリ冷^ひやして出来^{でき}上がり』これ ・ ・ ・ ・ ・ いつも眠^{ねむ}れない時^{とき}に読^よんでくれた絵本^{えほん}だ」

部屋^{へや}をぐるりと歩^{ある}きながら過去^{かこ}の楽^{たの}しかった思い出^{おも}の品^でを探^{しな}しながら。

シヅア「お出^で掛^かけの時^{とき}は、いつも両手^{りょうて}を繋^{つな}いでくれた。翳^{かげ}す程^{ほど}に眩^{まぶ}しい暗^{くら}いギラギラと^{かがや} 輝^{よぞら}く夜空^{おか}の丘^こを越^こえたら、ふわって肉^{からだ}体^{そら}が空^とを飛^ひんだ日^{あざ}。鮮^あやかな^か 閼伽^{そそ}を注^{うつわ}ぐ器^み が満^みたされ^{しゅんかん}た瞬間^{しゅんかん} ・ ・ ・ ・ ・ 何^{なに}もかも色^{いろ}彩^{うしな}が失^はわれ灰^{はい}色^{いろ}の^{なみだ} 泪^{なみだ} が墮^おちる度^{たび}に、また大^{おお}きな音^{おと}を立て^たる。静^{せい}寂^{じやく}なんて魔^ま法^{ほう}を使^{つか}うより難^{むずか}しいのかな」

蜂蜜^{はちみつ}が入^{こびん}っている小瓶^{こびん}を手^てに取り、味^{あじ}を思^{おも}い出^だしながらちょびっとだけ舐^なめる。

シヅア「こんなところに隠^{かく}れていたの ・ ・ ・ ・ ・ うーん、やっぱり良^よい香^かり、匂^{にお}いを嗅^かいでいるだけなのに、何^{なん}だか甘^{あま}い。風^か邪^ぜを引^ひいた時^{とき}にちょびっとだけ舐^なめるの^す好き。もう咽^{のど}喉^{いた}は痛^{いた}くないけれど、ちょびっとだけ」

食^たべ終^おわった桃^{もも}の種^{たね}を手^てに取^とって、ポケットにしま^とう。

シヅア「美味^{おい}しかったなあ ・ ・ ・ ・ ・」

不思議なキャンディが入っている小瓶を手取る。

シヅア「このキャンディ……」

不思議なキャンディをごっそりと噛み砕きながら食べる。

思い出のアルバムを開いて一枚だけ写真を抜き取る。

シヅア「……これだけ」

少しだけふらつきながら舞台中央に置かれたテーブルに片付け忘れた星空のクレヨンと燈火色の葉を見つける。

シヅア「……御呪い」

シヅアが、舞台中央のテーブル奥側で、燈火色の葉に星空のクレヨンで描きながら俯く。

シヅア「逢いたい……逢いたいよ……」

シヅアは、塞ぎ込んだ気持ちのままゆっくりと顔を上げるテーブルの下手側手前に、見た事も無い古びた虹の万華鏡を見つける。

シヅア「あれは……なんで、こんなところにあるはず……」

シヅアが古びた虹の万華鏡を取りに行く。舞台中央のテーブルの手前に座る（客席側に背を向ける）。

シヅアが古びた虹の万華鏡を覗く。

シヅアの生まれた日の思い出：スターターズキッドーナツオルゴール（古びた虹の万華鏡付）

オルゴールの曲名：ポップンデジカム

> 舞台ブルー転換、回転照明のスポットが舞台中央後方にあたる。ゆっくりと舞台が明るくなる。

蒼の世界蛸助家族のアクアリウム

アリスローズが蛸^{たこ}のぬいぐるみ顔^{かお}にあてながら。

アリスローズ「僕は『お一蛸助伍世^{たこすけごせい}』だ。皆^{みな}の者^{もの}、甘^{あま}くて美味^{おい}しい食^たべ物^{もの}を持
って参^{まい}れ。沢^{たくさん}山^{さん}だぞ。ほれほれどうした。早^{はや}く早^{はや}く」

セティーナ「・・・・・・何^{なに}『お一蛸助伍世^{たこすけごせい}』って」

ディデュダ「怖^{こわ}い怖^{こわ}い『お一蛸助伍世^{たこすけごせい}』って海^{うみ}の怪物^{かいぶつ}でしょ」

アリスローズ「僕は、太^{たい}平^{へい}大^{たい}西^{せい}大^{たい}海^{かい}原^{げん}に漂^{ただよ}う怪物^{かいぶつ}の中^{なか}の怪物^{かいぶつ}と呼ばれている
か呼^よんでいるか呼^よんだか『お一蛸助伍世^{たこすけごせい}』じゃ。因^{ちな}みに僕^{わし}のお父^{とう}さんは『んん
一蛸助肆世^{たこすけよんせい}』おじいちゃんは『えむう一蛸助参世^{たこすけさんせい}』ひいおじいちゃんは『える
う〜蛸助貳世^{たこすけにせい}』ひいひいおじいちゃんは『けえ〜蛸助壹世^{たこすけいっせい}』じゃ、分^わかったか」
セティーナ「ねえ、どういうこと・・・・・・」

ディデュダ「『蛸助群團^{たこすけぐんだん}』じゃん。お一怖^{こわ}っ」

アリスローズ「ふあっふあっふあっどうじゃどうじゃ」

セティーナがアリスローズにパンを渡^{わた}す。

セティーナ「はいっどうぞ。美味^{おい}しいものって言^いっても、此^こ処^こには小^{ちい}さなパン
しかないけれど・・・・・・」

ディデュダ「はいっどうぞ」

アリスローズ「ありがとう。ありがとう。」

>シヅアが、顔^{かお}を上げる。

シヅア「どういうこと。何^{なに}、これは・・・・・・」

セティーナ「おはよう、シヅア」

ディデュダ「タロット占^{うらな}いやろう、シヅア」

アリスローズ「パン食^たべる、シヅア」

セティーナ「それっ私^{わたし}があげたパンじゃない」

ディデュダ「そんな小^{ちい}さなこ^いと良^いいじゃない」

アリスローズ「そうそう小^{ちい}さなパンなんだから。そんな小^{ちい}さなこ^きと気^きにしない
気^きにしない」

シヅア「・・・・・・・・御^{おまじな}呪い」
セティーナ「そう御^{おまじな}呪い」
ディデュダ「憶^{おぼ}えている御^{おまじな}呪い」
アリスローズ「特別^{とくべつ}な御^{おまじな}呪いの続^{つづ}き」
シヅア「覗^{のぞ}いたら・・・・・・・・」
セティーナ「いつも眠^{ねむ}る前^{まえ}に」
ディデュダ「眠^{ねむ}るまで」
アリスローズ「読^よみ聞^きかせしてくれた絵^え本^{ほん}」
シヅア「・・・・・・・・思^{おも}い出^だすも何^{なに}も勿^{もちろん}論^{おぼ}憶^{おぼ}えているよ。いつも夜^{よる}になると眠^{ねむ}れない私^{わたし}の為^{ため}に読^よんでくれたから・・・・・・・・憶^{おぼ}えている」
セティーナ「御^{おまじな}呪い」
ディデュダ「御^{おまじな}呪い」
アリスローズ「御^{おまじな}呪い」
シヅア「・・・・・・・・それが御^{おまじな}呪いななの・・・・・・・・じゃあいつも御^{おまじな}呪いをして
いたってこと、そんなに大^{だい}事^じなことなんて書^かいてなかったと思^{おも}うけれど」
セティーナ「もう準^{じゅん}備^び」
ディデュダ「万^{ばん}端^{たん}」
アリスローズ「出^で来^き上^あがっているよ」
シヅア「準^{じゅん}備^びなんて私^{わたし}、何^{なに}もしていない。誰^{だれ}も私^{わたし}のことなんて知^しらない。」
セティーナ「今^{きょう}日は」
ディデュダ「素^す敵^{てき}な」
アリスローズ「誕^{たん}生^{じょう}日^び」
シヅア「・・・・・・・・誰^{だれ}の」
> 3人^{にん}とも同^{どう}時^じに言^いう
セティーナ「シヅアの」
ディデュダ「シヅアの」
アリスローズ「シヅアの」

シヅア「^{わたし}私の・・・」

>手伝おうとするシヅアを3人が制止して誕生日パーティーの準備を始める。

セティーナ「はいはい、^{しゅやく}主役は^{すわ}座って^{すわ}座って」

ディデュダ「はいはい、^{しゅやく}主役は^た食べて^た食べて、」

アリスローズ「はいはい、^{しゅやく}主役は^の飲んで^の飲んで、ほらほらぐいーっと」

シヅア「ちょ、ちょっと・・・」

>セティーナがケーキを^も持って^く来る

セティーナ「^{たんじょうび}誕生日と^い言えばやっぱり^いケーキ」

>ディデュダが^{ろうそく}蝋燭を^も持って^く来る

ディデュダ「^{たんじょうび}誕生日と^い言えばやっぱり^{ろうそく}蝋燭」

アリスローズ「^{たんじょうび}誕生日と^い言えば・・・」

>プレゼントボックスを^まばら撒いてしまう。

みんなシーンとする。

>シヅアが、それを見て^み^{おおわら}大笑いする。

シヅア「あはは、ありがとう。大丈夫だよ。こんなに^{わら}笑ったの^{ひさ}久しぶり」

セティーナ「じゃあ^{はじ}始めましょう」

ディデュダ「お^{たんじょうび}誕生日パーティー」

アリスローズ「じゃあ^{うた}歌いましょう」

シヅア「・・・ありがとう」

>みんなでハッピーバースディソングを^{うた}歌う^お終わり

>シヅアが^{ろうそく}蝋燭の^ひ火を^ふ吹き消すと同時に^け^{どうじ}

^{あんてん}
暗転

バラバラと^{おと}音が^な鳴り（拍手と銃声）

^{きょく}^な
曲が鳴る

^{かん}
完

げきちゆうきょく
劇 中 曲

きょくめい
曲 名：ポップンデジカム

きょくめい
曲 名：スターターズキッドベルトオルゴール

かしょう
歌 唱

きょくめい マイ フェイバリット シン グ ス
曲 名：My Favorite Things
